

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	3	運営推進会議に行政や家族の参加が見られない。	行政や御家族に参加して頂く。	地域包括支援センターに参加して頂く様依頼する。	6ヶ月
2	5	日中玄関に鍵をかけている。	日中は出来るだけ開錠に努める。	過去に数回エスケープがあり現在も可能性が高い利用者がおられる。今すぐというのは難しいが利用者の状態を見ながら検討したい。	12ヶ月
3	9	馴染みの人や場との関係継続に努める。	現状だと馴染みの人にホームに来て頂く機会があまり見られないので、そういう機会を増やしたい。	利用者一人ひとりに会いたい方はいないか等尋ねてみて、御家族に了承を得た上で連絡させて頂く。地域の方にも見学に来て頂ける様声を掛ける。	6ヶ月
4	12	ターミナルケアについて事業所の対応能力についても管理者は常に意識し、職員の支援の力量を見極め、その上でチームで支援していく事が望まれる。	本人・御家族がホームでの生活の継続を希望されたら、出来るだけ継続して生活して頂ける様最大限努力する。	本人・御家族の希望は尊重したいが、利用者契約の第10条に契約解除の項が規定されている。御家族とは重度化が進む前から先を見据え話し合いの場を持つ。	6ヶ月
5	13	避難訓練では消防署の協力を得てシュミレーション訓練を行い、職員だけの誘導の限界を具体的に確認し、対策を再構築する事や地域住民との強力体制を再度確認する。設備面ではスプリンクラーを設置する。	消防署との連携・地域との強力体制を再構築する。	年2回の避難訓練の際には訓練計画を提出し協力を求める。地域との連携については、日頃からコミュニケーションをとる様努めたり、運営推進会議でも地域の方に協力を得られる様お願いする。スプリンクラーについては法人内で前向きに設置を検討中。	6ヶ月(スプリンクラーを除く)

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。